

都市再生整備計画(第2回変更)

ぐ ん ま ちゅうおうだ い にしゅうへん
群馬中央第二周辺地区

たかさき
群馬県高崎市

平成30年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県	群馬県	市町村名	たかき市 高崎市	地区名	ぐんま ちゅうおう だいに しゅうへん 群 馬 中 央 第 二 周 辺 地 区	面積	82.0 ha
計画期間	平成 25 年度 ～ 平成 29 年度	交付期間	平成 25 年度 ～ 平成 29 年度				

目標

“誰もが住みたい、住み続けたいと思う、安全で快適な地域づくり”

目標１：「住みやすさと安全」を実感する生活環境を形成する。
目標２：治水対策を中心とした、自然災害に強い都市基盤を形成する。
目標３：地域住民の主体的な防災意識の向上を目指す。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・本地区は、平成17年度に高崎市と合併した「旧群馬町」において役場を中核とする中心市街地を構成する位置づけにあり、平成9年度に「中央第二土地区画整理地区（約72ha）」が事業認可されております。これまで当該事業では、市街化調整区域から編入された地区東側の約29haを中心に土地利用転換型の事業が進められておりますが、一方の西側地域では、地域住民が主体となったワークショップが平成19年度から継続して開催されていて、事業の進め方や区画道路網についての話し合いが行われています。平成18年10月には土地区画整理地区内に大型商業施設が開業し、同地域ににぎわいをもたらす集客施設の核として機能しています。

・『第5次高崎市総合計画（平成20年度～平成29年度）』では、本市中心部や県都前橋市への近接性、また幹線道路網の整備や大型商業施設の立地などによる本地区への著しい人口流入が示されています。

・『高崎市都市計画マスタープラン（平成21年度策定）』では、本地区周辺は「群馬地域の拠点」としての位置づけにあり「中密度住宅地として良好な住環境形成」が示されています。

課題

・本地区の大半を占める「中央第二土地区画整理地区」は、土地利用構成の違いから「①市街化調整区域から編入した土地利用転換型の区域」と「②民間開発により市街化された区域」さらに「③旧来の農村集落」の三つのパターンに分けられます。よって、地区全体が基盤の目状となるような画一的道路網は適しておらず、区画道路や排水施設の整備にあたっては、それぞれの地域特性に応じた計画の立案が課題となります。

・近年多発する大雨により、当地区および周辺地区に浸水被害が甚大となる箇所が多数あり、雨水排水処理の施設整備が急務であります。くわえて放流先である「一級河川天王川」が未改修のため、適地に調整池を整備し、河川洪水被害を防止する必要があります。

・地区内には「高崎市地域防災計画」に指定された「避難場所」がなく、一番近くの施設が地区外約1.2km北の「群馬中央中学校」であるため、住民避難の懸念材料となっています。このため、有事の際の集合や情報伝達に即応し、身近な避難地となる「一時（いつとき）集合場所」を街区公園に位置づけ、設備と機能の適切な整備を図ることが必要であります。

・本地区は、地域的利便性を反映した人口流入が進んでおり活発な宅地化が進んでいる半面、古からの住民と新しい住民のふれあう機会が少なく、地域としての連帯性が希薄となり、災害時での避難活動の円滑性及迅速性が懸念されております。よって住民自身が主役となり、ご近所と一体となった「地域防災と集団避難」に取り組むことの重要性を意識づけることが必要であります。

将来ビジョン（中長期）

・『第5次高崎市総合計画（平成20年度～平成29年度）』では、「人口増加に対応した都市基盤整備を進め、新たな副都心としての地域づくりを目指す」ことが地域の将来像として示されています。

・『高崎市都市計画マスタープラン（平成21年度策定）』では、地域幹線道路と公共下水道の整備に対する必要性が示されており、「農地と市街地が調和した田園都市の実現」を将来ビジョンとして掲げております。

・『高崎市地域防災計画（平成20年度策定）』では、できうる限りで災害の軽減を図ることを目標として「避難体制の確立」が示されており、自主避難体制や避難伝達系統の確立を地域の目指す将来像としております。

・このように本地区は、群馬地域の中心的位置づけであるとともに、高崎市副都心としての機能も求められております。よって、副都心らしい集客を目指すとともに、住みやすく、災害に強いまちづくりを中長期の整備方針として計画するものであります。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
①生活環境の充実	％	地域住民に対するアンケートで現在の住環境に対して「住みやすい」と回答する割合	「目標1：住みやすさと安全を実感する生活環境を形成する」ことによって、生活環境の満足度を向上させる。	45.0	平成24年度	65.0	平成29年度
②治水対策、自然災害対策に対する不安度の低減	％	地域住民に対するアンケートで現在の住環境に対して「宅地への浸水が心配」と回答する割合	「目標2：自然災害に強い都市基盤を形成する」ことによって、地域住民の治水対策に対する不安度を低減させる。	48.0	平成24年度	36.0	平成29年度
③地域防災に対する意識の向上	％	地域の防災に対するアンケートで「防災活動に参加したい」と回答する割合	地域主体の防災活動をととして、住民自身が自発的に行動できる「目標3：防災意識の向上」を図る。	49.0	平成24年度	75.0	平成29年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
【「住みやすさと安全」を実感する生活環境を形成する】 ・雨水排水の幹線水路整備により、浸水被害に対しての不安が低減されます。また公共下水道を整備することにより、家庭排水の合理化が図れます。これらのことにより、住環境に対する「満足度」の向上を目指します。 ・区画整理事業で整備される街区公園に災害対策機能が整備されることにより、避難時の即応体制が向上します。このことによって、地域の方々の「住みやすさと安全」に対する意識の向上を図る方針です。 ・区画整理事業により面的な都市基盤整備が図られるため、住みやすさの質と満足度の向上を目指します。	基幹事業　：　地域生活基盤施設 （地域防災施設：群馬中央第二周辺地区調整池整備事業） 基幹事業　：　土地区画整理事業（中央第二土地区画整理事業） 関連事業　：　中央第二土地区画整理事業
【治水対策を中心とした、自然災害に強い都市基盤を形成する】 ・公共下水道の整備を進めることにより、雨水排水と道路側溝に流れ込む家庭雑排水の混合を解消します。 ・中央第二土地区画整理地区内に雨水排水幹線を整備し、地区内の冠水被害低減と調整池への雨水排水を集約化を図ります。また、未整備である「一級河川天王川」の現況流下能力に適合した「防災調整池」を設置し、河川洪水の被害を防止に努めます。 ・区画整理事業により、道路側溝による系統的な排水機能を整備します。	基幹事業　：　地域生活基盤施設 （地域防災施設：群馬中央第二周辺地区調整池整備事業） 基幹事業　：　土地区画整理事業（中央第二土地区画整理事業） 関連事業　：　中央第二土地区画整理事業
【地域住民の主体的な防災意識を向上させる】 ・区画整理事業で整備される「街区公園」等「いっとき一時集会所」の機能を確保し、日頃からの防災意識定着を目指します。くわえて、住民主体の「地域防災活動」を支援することにより、有事に即応できる地域防災力の強化を図ります。	提案事業　：　（啓発・研修活動： 「中央第二地区安全安心まちづくりの会」運営支援事業）
その他 ○交付期間中の事業管理について ・交付期間中の円滑な事業推進のため、関連部署間との連携に努め、事業進度管理や事業効果等について定期的な協議を行います。 ・事業の内容・成果等について、市広報誌およびホームページにより、適切な情報の公開を図ります。 ○事後評価について ・数値目標の達成について、地域住民の意識に関する事項については、事業前と同様のアンケートを実施します。	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	473.1	交付限度額	189.2	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内事業費		交付対象 事業費	費用便益比 B／C
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路														
公園														
古都保存・緑地保全等事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	(地域防災施設) 群馬中央第二周辺地区 調整池整備事業	高崎市	直	流入側水路 L=550m	25	29	25	29	164.1	164.1	164.1		164.1	
高質空間形成施設														
高次都市施設														
中心拠点誘導施設														
連携生活拠点誘導施設														
生活拠点誘導施設														
高齢者交流拠点誘導施設														
既存建造物活用事業(高次都市施設)														
土地区画整理事業	中央第二土地区画整理事業	高崎市	直	中央幹線 W=25m L=308m	26	29	26	29	303.0	303.0	303.0		303.0	
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計									467.1	467.1	467.1	0.0	467.1	

...A

提案事業(継続地区の場合のみ記載)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業														
事業活用調 査														
まちづくり活 動推進事業	啓発・研修活動	「中央第二地区安全安心まちづくりの会」運営支援事業	高崎市	直	-	25	29	25	29	9.0	6.0	6.0	3.0	6.0
合計										9.0	6.0	6.0	3.0	6.0
												合計(A+B)	473.1	

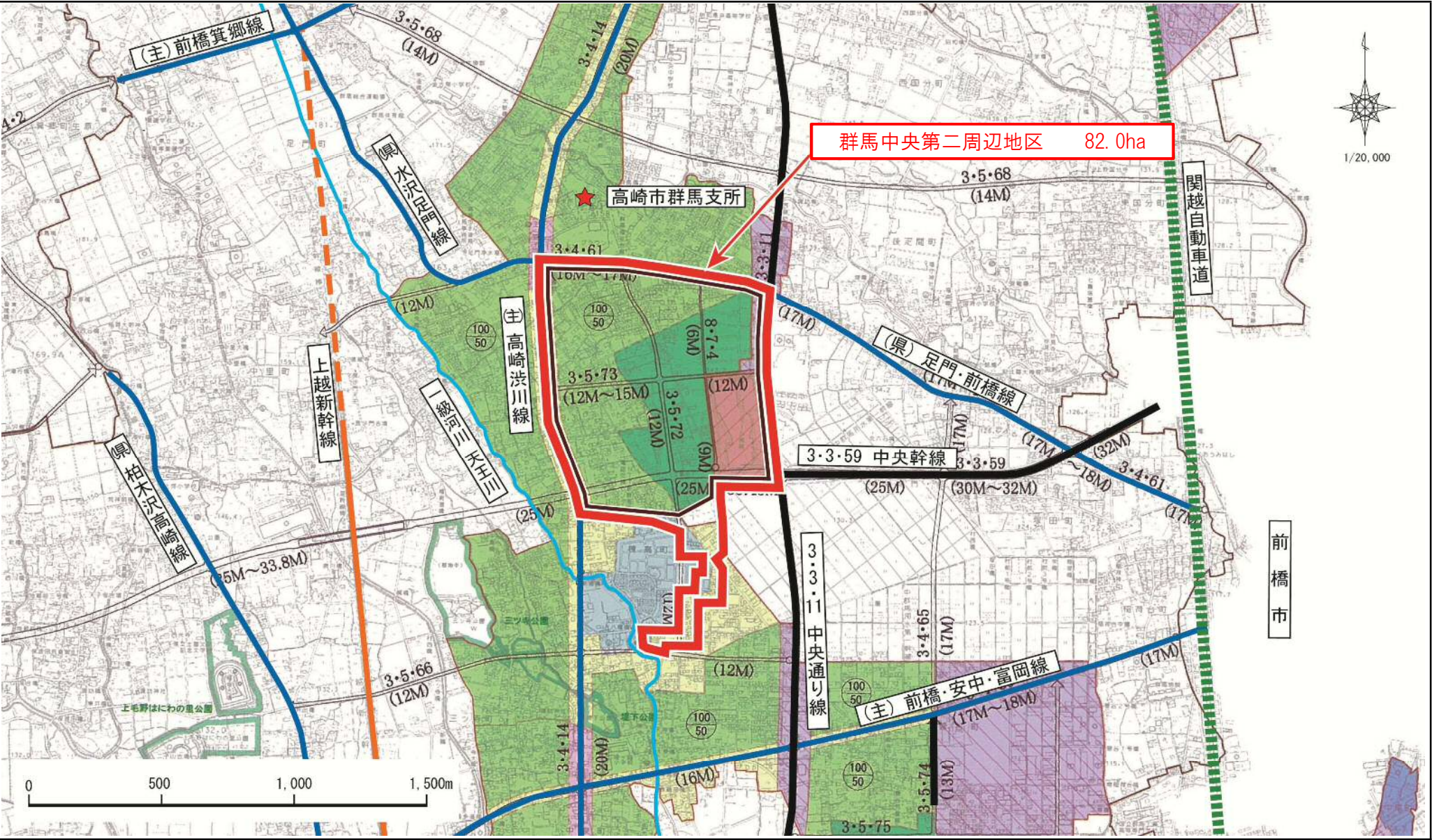
...B

(参考) 関連事業

[illegible]

都市再生整備計画の区域

ぐんまちゅうおうだいにしゅうへん 群馬中央第二周辺地区(群馬県高崎市)	面積	82.0 ha	区域	足門町、引間町、棟高町の各一部
--	----	---------	----	-----------------



ぐんまちゅうおざい にしゅうへん たかさき
群馬中央第二周辺地区(群馬県高崎市) 整備方針概要図

目標	“誰もが住みたい、住み続けたいと思う、安全で快適な地域づくり” 目標1:「住みやすさと安全」を実感する生活環境を形成する。 目標2:治水対策を中心とした、自然災害に強い都市基盤を形成する。 目標3:地域住民の主体的な防災意識の向上を目指す。	代表的な指標	生活環境の充実(%)	45.0 (H24年度) → 65.0 (H29年度)
			治水対策、自然災害対策に対する不安度の低減(%)	48.0 (H24年度) → 36.0 (H29年度)
			地域防災に対する意識の向上(%)	49.0 (H24年度) → 75.0 (H29年度)

